

恵那市産業振興ビジョン（素案）

～事業者の稼ぐ力向上による地域経済の活性化～

概要版

平成30年3月

恵那市

I. 産業振興ビジョンの基本的な考え方

1. 目的等

「恵那市産業振興ビジョン」（以下「ビジョン」）は、地域産業及びその担い手である中小企業等が地域社会の発展に果たす役割の重要性を認識の下、恵那市を取り巻く社会経済環境の変化等を踏まえ、市と中小企業者等が協働して取り組む産業振興の基本方向や推進する施策などを明らかにすることを目的に策定するものです。

また、このビジョンは、恵那市中小企業・小規模企業振興条例第4条の規定に基づき、地域の中小企業関係団体と密接に連携し、市が定める“中小企業振興のための指針”の性格を併せ持っています。

2. 構成及び期間

このビジョンは、恵那市産業振興会議において市と中小企業者等との協働により取り組む産業振興施策等を体系的にまとめたものです。

ビジョンは全体を「5つの施策の基本方向」と「15の基本施策」を基本に、重点的に推進する「7つの重点プロジェクト」と基本施策を具体化するために実施する「32の展開事業」を体系的に整理しています。

ビジョンの期間は、総合計画との整合を考慮し、平成30年度から概ね8年間程度とします。

H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	H36年度	H37年度
第2次恵那市総合計画										
恵那市まち・ひと・しごと創生総合戦略										
			恵那市産業振興ビジョン							

↑ 見直し

3. 推進体制

市と中小企業等との協働を基本にビジョンを推進するため、中小企業者、中小企業関係団体、農林業者、金融機関、行政、大学などで構成する、『恵那市産業振興会議』および『恵那市もうかる農業検討委員会』において、中小企業振興及び地域産業振興等の推進に関する事項などについて協議を行います。

Ⅱ. 産業経済の現状と課題

1 地域の現状

○ 自然・地理的構造

- ・岐阜県の南東に位置し名古屋から1時間
- ・山紫水明の豊かな自然、歴史街道が存在

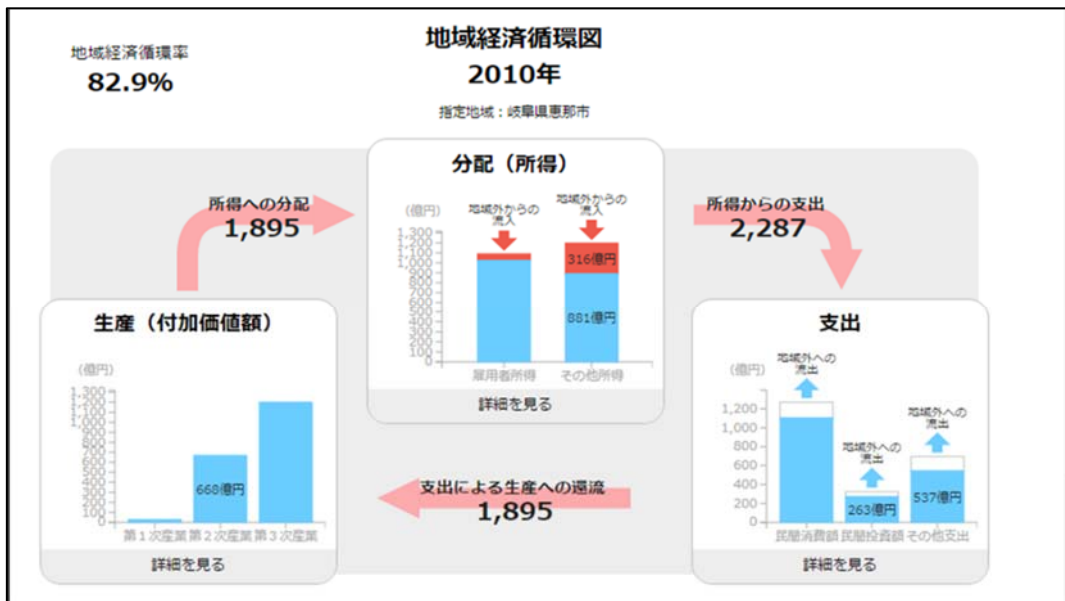
○ 人口の動向

- ・人口は1985年をピークに減少。修学・就職により転出する人が増加
- ・人口減少による消費購買力の低下

2 産業の現状と課題

○ 産業構造の現状と課題

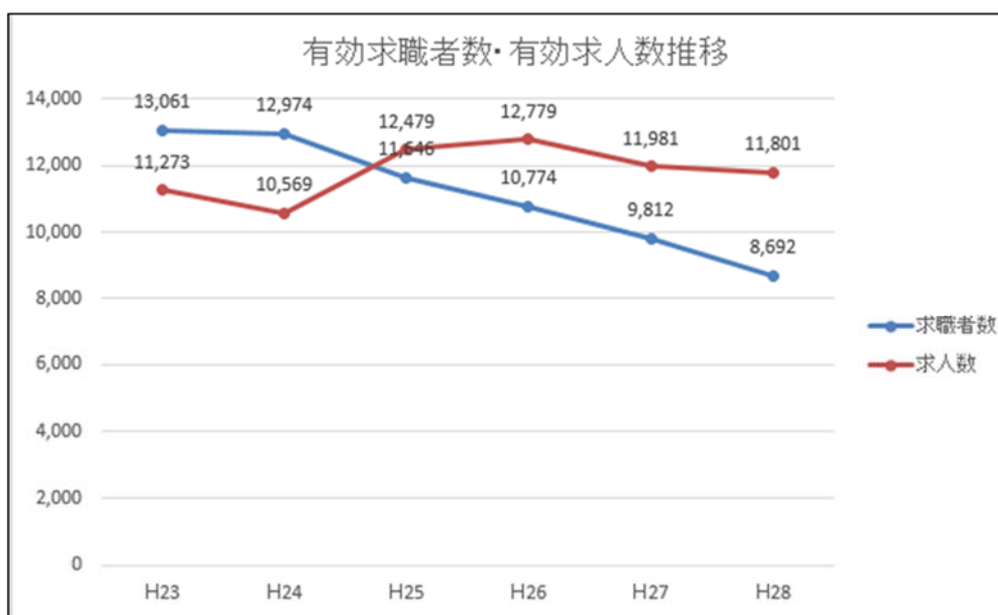
- ・創業比率は低い（県内22位、全国916位）
- ・基幹産業は製造業だが、製造品出荷額等は減少傾向
- ・製造業につぎ卸・小売業などの商業も地域経済を担う
- ・地域外から財やサービスを買っている（平成22年地域内経済循環82.9%）



資料：経済産業省・内閣府地方創生推進事務局 RESAS

○ 就業構造、雇用環境の現状と課題

- ・ 求人数は増加傾向だが、求職者は右肩下がり（有効求人倍率は 1.22 倍）
- ・ 高校生の市内就職率は 20% 台
- ・ 人手不足を解消するため市外・県外からの採用が課題
- ・ 従業員の高齢化が進み、優れた技術の伝承や若手を教育する人材の育成が課題
- ・ 恵那市の事業所総数に占める中小企業の割合は 95% 以上となっており、小規模事業者の経営改善が課題



資料：ハローワーク恵那業務年報

○ 商業・観光の現状と課題

- ・ 年間消費販売額が減少傾向（平成 19 年 881 億円⇒平成 26 年 718 億円）
- ・ 飲食料品小売業など観光関連産業で事業者減少。地域内で消費してもらう仕組みづくりが必要
- ・ リニア開通を見据え、地域の資源や魅力を生かした商業振興が必要
- ・ 従業者数は、製造業 30.5% に次、卸・小売業 18.0%、宿泊業・飲食サービス業 10.2% だが、付加価値額は小さく、生産性向上や新たな付加価値創出が必要
- ・ 商店街や商店同士の連携強化や新しい商店街形態の模索などの取り組みが必要
- ・ 観光客の滞在時間を延ばす取り組みが必要
- ・ 観光地としてのブランド化や買いたいと思われる商品・サービス・体験プログラム開発、二次交通の充実が必要
- ・ 農林産物などの地域資源を活用するための連携ができていない
- ・ 地域資源を商品化するノウハウが不足

○ 工業の現状と課題

- ・売上高、付加価値額では製造業の比率が高く、全国平均を上回り、恵那市の基幹産業
- ・製造業者数は減少傾向にあり、製造品出荷額等も減少傾向
- ・域外への支出が大きく、地域内で経済が十分に循環していない
- ・労働生産性に改善の余地がある
- ・時代に対応した企業経営体制の整備などによる生産性向上が必要
- ・素材産業の立地を生かした付加価値の高いオリジナル製品開発を促進する必要がある
- ・質の高い製品や優れた技術を生かしたさらなる付加価値創出とともに、次代へ伝承していく環境づくりが必要
- ・新たな事業展開を促進する環境づくりや新たなアイデアづくりを促進するため大学などの研究機関との産官学連携体制づくりが必要
- ・誘致企業との連携を図りながら、地域の技術力を高めることが必要
- ・人手不足、若者を育成する指導者不足

○ 林業の現状と課題

- ・原木のまま域外へ流出するため付加価値を付けて売れていない
- ・ヒノキブランドの有効活用と情報発信が課題
- ・小規模経営が多いが全国でも従業者数は多い
- ・伐期を迎えた豊富な木材の活用が必要
- ・高性能機械の導入や製品化、他産業との連携による付加価値創出が必要
- ・恵那市の木材の魅力を感じる体験プログラムの開発・情報発信が必要
- ・森林管理者・技術者の育成が課題
- ・施業面積の集約化が十分進んでいない
- ・林道整備が進んでいない

○ 農業の現状と課題

- ・赤字経営が多く、生産技術の向上や売るためのストーリーづくりなど農家所得向上へ向けた取り組みが必要
- ・既存の振興作物の見直しや新たな農作物が必要
- ・農地面積は減少傾向だが、耕作放棄地は増加傾向
- ・閑散期における耕作放棄地の活用など改善対策が必要
- ・市内で生産される農作物により付加価値を付けて売るため、農林商工連携による6次産業化の促進が必要
- ・地元飲食店と生産者のマッチングや販売所の整備など『地消地産』の取り組みが必要
- ・個人では販売・流通に乗せるのが困難
- ・販売・流通の強化が課題

Ⅲ. 産業振興の考え方

1. 産業振興の基本的な考え方

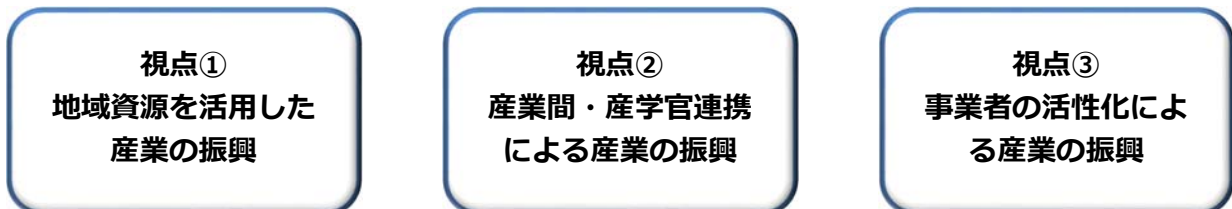
域内経済の活性化のためには、地域外からの所得の獲得を大きくする一方、地域からの所得の流出を出来るだけ抑えることで、地域内の経済活動を活発化し、域内連関により雇用拡大などに結びつけることで域内経済波及効果を高めていく、「域内経済循環」の視点による取り組みが重要です。

このビジョンにおいては、地域資源を活用した創業・起業の促進、新商品・新技術の開発の促進、中小企業等の経営革新等による経営基盤の強化、人材育成などによる「内発的な振興」を図るとともに、域外からの企業立地、集客などを促進し、域内企業との有機的な連携を図りながら地域の競争力を高めていく「外発的な振興」に取り組む両面から、産業振興策を展開していきます。

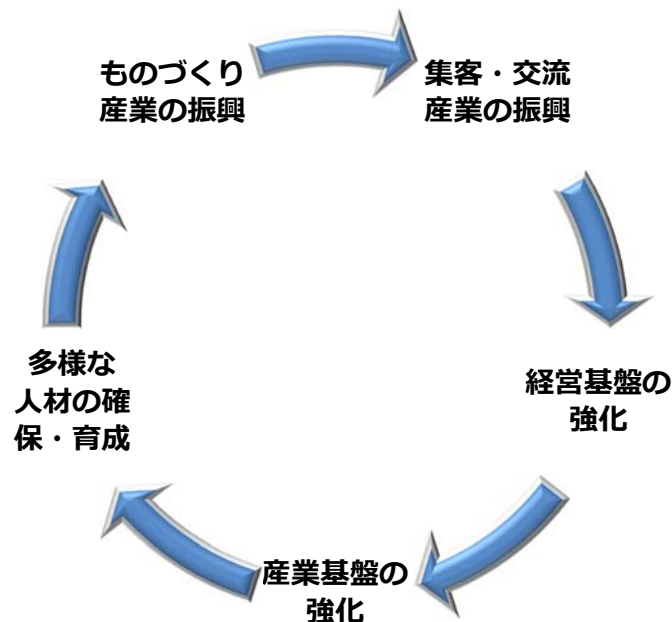
2. 本市が目指す地域産業の姿

『稼ぐ力の強い、持続する地域産業の形成』

3つの視点に基づき産業振興



5つの基本方向に基づき施策を展開



3. 展開施策の体系

産業振興ビジョン全体の体系図「5つの施策の基本方向」と「15の基本施策」「32の展開事業」



プロジェクト

1

【恵那の「もの」「こと」創造プロジェクト】

展開事業 ■ 恵那ブランド形成

- 恵那ブランド新商品開発
- 既存振興作物の強化・見直し
- 観光コンテンツ制作
- 新たな農作物や売れる作物の作付け

展開事業 ■ 地域資源活用促進

- 既存商品やサービスの付加価値向上、新事業展開への支援
- 農産物や林産物などを活用した6次産業化
- 恵那の木を利用したオリジナル製品の開発
- お土産品や体験プログラム造成・販売
- 遊休農地や閑散期の農地活用
- 遊休農地の有効活用、空き家に付随する農地取得制度の確立

展開事業 ■ 異業種・同業種間連携の促進

- 農林商工連携による新たな付加価値創出
- 地域資源活用や農林商工連携を産業化に結びつけるための学ぶ場提供・支援

展開事業 ■ 市場開拓・販路拡大

- 集客施設での展示販売
- プレミアム付き商品券事業
- ECサイトの活用
- 消費者と農家のマッチング
- 農産物販売所（直売所）の整備
- 首都圏での農産物展示販売

プロジェクト

2

【集客・交流コンテンツ創造プロジェクト】

展開事業 ■ 体験プログラムによる観光・産業振興

- 農作業や林業体験、工場見学など産業と観光を結び付けた体験プログラムづくり
- 地場食材の地消地産
- オープンファクトリー
- 恵那ブランド新商品開発（再掲）
- 既存商品やサービスの付加価値向上、新事業展開への支援（再掲）
- お土産品や体験プログラム造成・販売（再掲）
- 観光コンテンツ制作（再掲）

展開事業 ■ 集客できる拠点整備

- 森林教育の拠点整備
- 観光地整備
- 農産物販売所（直売所）の整備

プロジェクト

3

【魅力発信プロジェクト】

展開事業 ■ プロモーション強化

- 観光情報発信の充実
- 広域・効果的な情報発信
- えなの森林魅力発信事業
- 「食」と「農」に関するポータルサイト構築

プロジェクト

4

【事業者総合支援プロジェクト】

展開事業 ■ ビジネス総合相談機能強化

- 総合相談窓口機能の強化
- 事業者への効果的な情報提供

展開事業 ■ 事業者活性化支援

- 商店街活性化
- 地域内経済循環促進のためのビジネスマッチング
- 農林商工連携（再掲）
- 産業振興会議の実施
- 消費者と農家のマッチング（再掲）

プロジェクト

5

【創業・起業促進プロジェクト】

展開事業 ■ 創業・起業チャレンジ支援

- ワンストップ相談機能の充実
- 創業・起業しやすい環境整備
- 建設事業者等による農業への事業外参入支援
- 関係機関と連携した創業セミナー
- 各産業での創業・起業支援セミナー
- 女性の活躍推進

プロジェクト

6

【地域経済拡大プロジェクト】

展開事業 ■ 企業立地支援・誘致促進

- 企業等立地と再投資促進
- 本社機能移転促進

展開事業 ■ 産業立地環境の整備

- 工業団地の整備
- テレワーク普及による立地環境整備

【人財確保プロジェクト】

展開事業 ■ 採用力向上

- 事業者と教育機関との情報交換による地元採用促進
- 農業経営体の経営安定や規模拡大支援による採用力向上
- 企業の魅力発信事業
- 経営者向け研修の充実
- 採用活動で成果を上げる仕組みづくり
- 大手就職サイト等の活用

展開事業 ■ 選ばれる事業者となるための魅力発信

- 製造現場で働く若者の情報発信
- ワークライフバランス取り組み事業者の情報発信

展開事業 ■ 高齢者・女性の活躍推進

- 女性の活躍推進
- シニアワークステーション